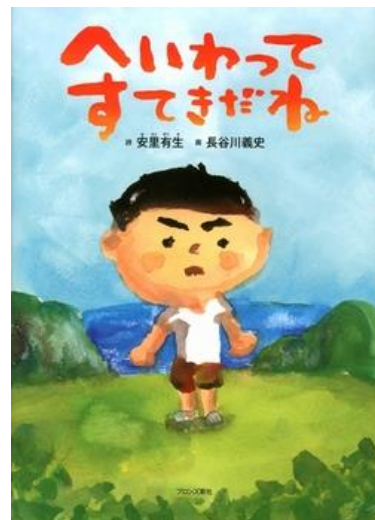


「へいわってすてきだね」安里 有生(あさとゆうき)

へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
 ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。
 ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
 へいわっていいね。へいわってうれしいね。
 みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
 ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、
 ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

(沖縄与那国島の小学一年生の子が作った詩です。)



第4回 学習会

建設産業が平和産業で

あり続けるために！！

今、安倍政権のもとで、海外での戦争の危険とともに、兵器の輸出・インフラ輸出が成長戦略として進められています。

建設産業は「破壊」を目的とする戦争とは相いれません。ゼネコンの戦前の社史から何を学び、どう行動すべきか。ともに考える機会として皆さんのご参加を呼びかけます。

日時 4月15日(土) 14時30分～16時30分
 会場 大久保地域センター A会議室
 講師 辻村 定次氏 (「建設の会」事務局)

＝ゼネコン社史が語る戦前の痛苦の経験から何を学ぶか＝
建設産業が平和産業であり続けるために

平和と民主主義のための建設の会 主催
第4回学習会

大手ゼネコンの社史には、戦前、日本の軍国主義・植民地政策のもとで、受注を確保するため大膽に渡り、いつの間にか政府・財界や軍部の思のままに戦争遂行工事に手を染め、抜き差しならぬまま戦争産業に転落しました。その結果、多数の労働者の命と財産を犠牲にした痛苦の経験が記載されています。

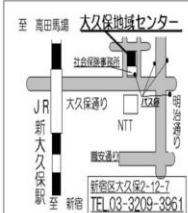
今また、安倍政権のもとで、海外での戦争の可能性とともに、兵器の輸出、インフラ輸出が叫ばれています。

建設産業は「破壊」を目的とする戦争とは相いれません。平和産業としてあり続けるためには、どうすればいいのか。大手ゼネコンの戦前の社史から何を学び、どう行動すべきか学習会を企画しました。ともに考える機会として皆さんのご参加を呼びかけます。



と き: 4月15日(土)
 午後2時開場 2時30分～4時30分
と ころ: 大久保地域センター
A会議室
講 師: 辻村 定次氏
 「建設の会」事務局
 元建設政策研究所専務理事
 * 資料代 500円

参加申し込みは、下記の世話人に
 ・辻村・090-3405-1453 ・荻野・090-1667-5051
 ・高田・090-6301-5862 ・秋葉・090-3041-4757
 ・塚本・080-1349-2715



交通：JR山の手線 新大久保駅下車
 徒歩8分

内閣総理大臣 安倍晋三への年賀状



今、地球上では、私たち人類と他生物のすべての生存を脅かす地球温暖化と気候変動が確実に進行しています。一方、世界は、東西冷戦終結後、急速に無秩序化へと向かっており、とくにEUの混乱と崩壊の危機の中、アメリカ・ロシア・中国の覇権争いにより、かつてないほど核戦争の脅威も高まっています。

しかもそうした状況下、この日本丸という巨船の船長は、その中で解決が急がれる最重要な問題のすべてを先送りしたまま、相も変わらず目的地も定めずに、世界という大海を漂流させ続けています。

そんな中で明けた2017年。私はどうしても「明けましておめでとう」と祝う気持ちにはなれません。危機が刻一刻と迫っていると予感するからです。

総理とは言っても官僚たちの「操り人形」で「お飾り」でしかなく、その上主権を米国に売り渡し続けながら、しかも徳川との合意になる「大政奉還」を不都合と見て武力で権力を横取りした薩長明治政権の自己正当化のための虚構の延長上でしか時代とその趨勢を見ることのできない貴殿。

内閣総理大臣とは何ですか？この日本国は本当に国家と言えるのですか？

貴殿の見せかけだけの姿を見ていると、私は一国民として余りに情けなく、また恥ずかしく思います。日本と世界のために、いっそ辞されたら如何ですか。

今の私は農夫です。この生き方を私に決意させたのは次の言葉です。

「未来は『今、我々が何をするか』にかかっている。」——マハトマ・ガンジー

2017年 新春

これは、今年の正月、私が安倍晋三に宛てた年賀状である。

安倍晋三とその政権の為すことが国家破壊的で、余りにも支離滅裂なのだ。

安倍晋三とその政権はこの国の国家として法的礎である憲法をズタズタに破壊してしまった。

第41条を無視して閣議決定を国権の最高機関である国会に優先し、96条を無視して9条を解釈だけで改憲し、99条をも無視したのである。

憲法がひとたび破壊されるということは、政治学的観点に立てば、その瞬間に、その憲法に依拠して成り立っていた法体系の一切が存立根拠を失ってしまったことを意味する。ということは、国会であれ内閣であれ裁判所であれ、それぞれの機関を成り立たせている法律そのものがその存立根拠を失っているのだから、それらの機関は、理論的にいえば、いずれももはや機能はし得ず、私たち国民は、今や、法治国ではない無法の国に住んでいることになるのである。

にも拘らず安倍は、内閣の総理をし続け、国会の答弁に立ち続けている。

この国の目ざすべき国の姿も行くべき進路も示し得ず、私たちの子々孫々の存続のためには今のうちに是非とも解決させるか解決の目処を立てておかねばならない次のような問題のすべてをも先送りしながら。GDPの2.4倍もの額の世界最悪の政府債務残高。世界一のスピードで進む超高齢化と国力の低下。温暖化進行により世界同時食料危機が想定されるのに、この国の食料自給率は依然として38%のまま。「パリ協定」実行のための具体策も全くなし、等々がそれだ。

たまりかねた私は、事前に総理大臣官邸に電話でこう問い合わせたのである。

『総理に年賀状を書こうと思いますが、ちゃんと届けてくれますか。』

返事はこうだった。『届けますが、あなたの住所氏名も明記して下さい。』

(山梨 生駒哲夫)

脱原発など市民運動と労働組合

2月19日に4千人が参加して日比谷野外音楽堂で開催された「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」主催の集会で東日本大震災の被災地代表は「被災地のことを忘れないでほしい」と訴えました。

この3月11日で東日本大震災と福島原発事故から丸6年を迎えます。あの東日本大震災と原発事故以降、再稼働反対、脱原発をめざした市民運動は各地域に広がり、いまもなお首相官邸前や国会前では毎週金曜日に抗議行動が実施され、全国各地でもそのとりくみは継続されています。

鹿児島島の川内原発など、再稼働の強行はあるものの、脱原発を争点とした各地での首長選挙での結果、さらにはマスコミの世論調査においても原発をなくしてほしいという国民の願いは過半数を超えており、少なくともこの間の継続した多くの市民運動が脱原発の世論を後押ししていると言えます。

脱原発の運動とともに2015年の戦争法案反対のたたかいも中央・地域での市民運動が大きな力になり、現在の総がかり行動実行委員会や各地での運動につながっています。さらに昨年の参議院選挙における野党共闘、各地の野党統一候補の当選を力強く支え、今もなお、来るべき衆議院議員選挙に向けた野党共闘のかけ橋となっています。



一方、私たち労働組合の運動はどうでしょうか？脱原発や戦争法廃止の運動は労働組合のナショナルセンターを超え、毎月19日を中心に大きなとりくみになっていますが、そもそも労働組合には集会やデモへの参加を呼びかける力はありませんが、自らの要求として集会の趣旨に沿った想いをつづるなどしたプラカード、パレードやコールを盛り上げる楽器などの持参は皆無であり、各組合の名前の入ったのぼり旗が会場をいっぱいにしていることにしばし、ため息が出ます。

パレードに参加していない沿道にいる人たちにも何を訴えているのかが分かるアピール、一緒に歩きたくなるような楽しいコールは労働組合とは無縁なののでしょうか？

私たち自らが様々な市民運動に参加したり、地域でのとりくみに協力していれば、市民にふりむいてもらえる、共感される運動が必要であることを実感できるはずなのですが・・・。

8月の終戦記念日、ヒロシマ・ナガサキの原爆投下の日に想いを寄せるように、この3月は東日本大震災と福島原発事故で亡くなられた方々、今もなお、避難されている方々を思い出す。「被災地を忘れない」ためにも3・11を中心とした中央・地域でのとりくみを仲間に紹介することも私たち労働組合の大切な役割なはずです。

あの震災と津波で亡くなられた方や家族にとっては七回忌となる今年、あらためて被災地と被災された皆さんを忘れることなく想いを寄せながら、建設労働組合にかかわるものとして地域住民の安全・安心なまちづくりや減災・防災対策の推進をはかるとともに、私自身が一人の市民として脱原発や戦争法廃止などの様々な市民運動に参加していきたいと思えます。

(東京土建 松井民人)

劇団文化座公演「命どう宝」と辺野古

先日、劇団文化座の「命どう宝」を観ました。舞台は沖縄県・伊江島。1945年、米軍の上陸で激戦地となり村民は慶良間諸島に強制移住させられました。だが島の63%が米軍の軍用地に。1954年、強制立ち退きが始まります。1955年、米軍が81戸の土地を奪い、13戸の家を破壊して射爆場を建設します。農民は立ち入り禁止区域に入り、農耕を開始しました。1956年、限られた収穫で生活もままならず「乞食行進」で「乞食をするのは恥ではあるが、武力で土地を取り上げ、乞食をさせるのはなお恥です」と伊江島の実情を沖縄全土に訴える行動を7か月実施しました。

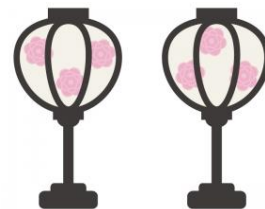


「県外での沖縄への理解を深めたい」と作品の意義を語る文化座の佐々木愛代表

日本本土からも支持行動がおこり多くの物資が送られました。島民は、瀬長亀次郎さんから「不屈」、阿波根昌鴻さんから「非暴力」、屋良朝苗さんから「鈍角の闘争（シャープな理屈ではなく鈍角の金槌）」を学びたたかい続けてきました。《以上、劇団文化座・パンフレットからの抜粋》劇中に繰り広げられる島民のたたかいと、現在の辺野古をめぐるたたかいは、そのまま重なって見えてきます。大きく異なるのは、沖縄が60数年前は米国の統治下であり、現在は、日本の国土であることです。沖縄返還時、沖縄の人々は「平和憲法」のもとで暮らせることに大きな喜びを感じていたと思います。まさか、基地反対のたたかいは現在も続いているとは思っていませんでした。伊江島をふくむ沖縄のたたかいの歴史はその後、全国のたたかひの励みとなり、様々な立場の人々の連帯の輪をひろげ、この国の形を変える活動に生かされてきていることを実感します。

(NPO 法人建築ネットワークセンター
1級建築士 藤井 勝明)

『建設の会』賛同者からのメッセージ



『建設の会』の趣旨に賛同する人から寄せられたメッセージです。
本人の了解を得て、少しずつ紹介していきます。

私は昭和17年11月にサイパン島で生まれ、終戦を迎えました。サイパン島の生き残りです。米軍上陸で最終的に捕虜になり、収容所に入れられました。記憶はありませんが食料が少なく島民の差し入れで生き延びたと親から聞いています。罪のない庶民が犠牲になる戦争はまっぴらゴメンです。立憲主義を乱暴に踏みにじり安保関連法案を強行採決、そして沖縄に新基地を力づくで押し付ける安倍内閣は絶対に許せません。来たるべき衆院選で自民・公明・維新を減らすため、野党は共闘を何としても進めましょう。
(真喜志康正)

立憲主義を回復し、いまだつぼみのままの憲法をあらゆる面で花開かせましょう。
(関口偵雄)

戦争法は全ての国民の生活を根本から覆す稀代の悪法、国難を迎えていると思っています。私は本部で主婦の会も担当していますが、戦争だけに焦点を絞らずに、生活が奪われることを訴えております。お父ちゃん達を戦場の地ならしに使うな！と怒りを込めて国会前に、地元駅前に集っています。
(岸本美和)

アメリカの侵略戦争に加担するのは絶対にイヤです。
(苗村泰平)

文芸の欄

俳壇

ライバルが居て恋猫の恋らしく
水温む川面に塔の凜として
子供らに戦なき世をひな祭り
(庭野峰雄)

柳壇

百歳に青春がある好奇心
新党をファーストにする小池知事
簡単に天下りさす文科省
(佐竹明吟)

歌壇

悴んだ指で名前とところ書く
共謀罪に厳とした文字
ジャンジャンとドラの音なつかし
久里浜の港は今も昭和のままに
沈丁花小さき花卉のひらくごと
香りほのかに季節が動く
(辻村定次)

日本会議と安倍政権

一改憲ねらう草の根右翼— の概要 ①

講師 俵 義文

(子どもと教科書全国ネット 21 事務局長)



『建設の会』第3回学習会が2月8日、けんせつプラザ東京で行われました。講師は元祖「日本会議」研究者と言われ、詳細な資料に基づき、日本会議の前身や結成からの歴史、安倍晋三・安倍政権との関係などが話され、安倍政権を支える歴史修正主義の極右勢力であり、安倍政権もまた極右政権であることが明確になりました。改憲を最大の目的に国民投票で過半数の賛成を獲得するため、全国の支部や神社を通じ、草の根の1000万人賛同署名活動を行っていることなどが紹介されました。これらの概要を今号と次号の2回に分けて紹介します。

1. 改憲運動の現状

(1) 安倍政権は極右政権、改憲の実現をめざす政権、歴史わい曲政権

安倍内閣の各大臣がどのような極右的議連に属しているか、資料をみていただきたい。

(資料1) 第3次安倍内閣の極右の大臣たち

俵 義文 作成 (2017年1月27日改訂)

安倍首相自身が明らかに極右政治家だと私は思っています。日本のメディアは安倍さんを極右とは呼びませんが、欧米のジャーナリストは極右政治家と呼んでいます。欧米では歴史を修正する、ナチスを擁護したり慰安婦を否定したり、戦争における虐殺事件を否定、侵略戦争はなかった、という人は極右だとみなされています。また安倍さんが率いる第三次安倍内閣も極右政権と言えます。

資料1をみてわかるとおり、日本会議議連に所属する大臣が20名中16名いる。80%にもなります。神道政治連

盟議連には19名います。公明党を除けば全員です。神道議連の会長は安倍さんです。安倍さんが会長をしている創生「日本」は新しい団体ですが、改憲のためには安倍さんを再び総理・総裁にする、とつくられた議員連盟です。

戦後レジームを脱却し、憲法を変えることを目標としています。このメンバーには衛藤や菅、稲田といったメンバーが入っています。稲田朋美さんはこの中で「自分の国を自分で守らないという憲法は即刻廃棄すべきだ。そのために安倍さんを総理にすべき」と言っています。これらをもみても安倍政権は日本会議政権であり、神の国政権だと言えます。

	大臣		首相 補佐 官	官房 副長 官	副 大臣	政 務 官	合 計	
日本	16	80.00%	2	2	16	16	52	67.50%
教科書	7	35.00%	1	1	2	1	11	14.30%
神道	19	95.00%	3	2	19	19	62	80.50%
靖国	17	85.00%	3	2	14	19	55	71.40%
創生	14	70.00%	2	2	10	5	33	42.90%
改憲	11	55.00%	1	1	2		15	19.50%
同盟	7	35.00%	1	2	6		16	20.80%
「慰安婦」	6	30.00%	1	2	5		14	18.20%
合計	97		14	14	74	60	258	

(2) 改憲の実現をめざしている政権

昨年の参議院選挙の後、日本会議の機関紙（16年9月号）には「改憲勢力3分の2確保、憲法改正国会発議可能に」という大見出しが出ています。そして、安倍首相は「発議に向けてしっかり橋が架かった」と言っています。

日本会議は憲法改正を何よりも第一の課題として運動してきた右翼組織です。今、彼らは「美しい日本の憲法をつくる国民の会」を設立（2014年10月1日）し、日本会議の別動隊として、日本会議をもっと周りに広げる取組みを進めています。彼らは安倍政権の時代に憲法改正を実現するのだと「草の根」の大運動を展開しています。この役員をみると、共同代表には櫻井よしこ・田久保忠衛（日本会議会長、杏林大学名誉教授）・三好達（日本会議名誉会長、元最高裁長官）の3名がなっています。役員は全国で500人います。彼らは国民投票に向けて1000万賛同署名運動を行っています。この署名用紙は「私は憲法改正に賛成します」となっており、用紙に住所・名前と電話番号を書くようになっている。署名の目的は発議のあとの国民投票で過半数の賛成を得なければならない。過半数を得なければ内閣はつぶれる。そのため何としても過半数を得なければならないと、国民投票総数を6000万人と推定しその過半数、3000万人以上の賛成を得る必要がある。そのために今、1000万の署名を集める。その1000万人があと2人ずつ賛成する人を組織する。このような戦略で署名運動をしています。昨年末で1000万を達成すると言っていたが、まだ達成したとは出ていません。この署名のために日本会議の有力な団体が神社本庁です。ここに加盟しているのが8万神社あります。ここに指示を出し各神社で署名活動をしています。氏子を使って署名させている神社もあります。これを事実上動かしているのが日本会議事務総長の梶島有三です。

2. 安倍晋三と安倍政権による改憲運動、歴史改ざん運動

なぜ安倍晋三のような政治家が生まれてきたのか。1993年7月の総選挙で安倍さんは国会議員に初当選しますが、自民党は敗北し野党に転落、非自民の細川内閣が誕生します。この政権の中で河野洋平官房長官が日本軍慰安婦に関する談話を発表し、細川首相は「日本の戦争は侵略戦争だった」という発言を行います。これに反発した自民党は93年8月に「歴史・検討委員会」を設置し、105名の国会議員が委員に選ばれるが、ここに安倍さんらが参加した。1995年に『大東亜戦争の総括』を発刊しますが、そこには、①大東亜戦争は侵略戦争ではない、アジア解放の聖戦だった。②南京大虐殺・日本軍「慰安婦」問題などはでっち上げ、日本は戦争犯罪を犯していない。③日本の侵略・加害を教科書から消すための新たなたたかいが必要。④このような歴史認識を国民に定着するための国民運動を学者中心に行う。などが決められています。また、94年には自民党内に戦後50年国会決議反対の「終戦50周年国会議員連盟」を結成しました。この議連の会長は奥野誠亮、事務局長は板垣正ですが、事務局長代理に安倍さんが抜擢されました。この議連はその後、96年に「明るい日本」国会議員連盟に改組（役員は同じ）し、さらに97年には「日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会」（「教科書議連」）に引き継がれていきます。教科書議連の会長は中川昭一、幹事長は衛藤晟一ですが、事務局長には安倍さんがなっています。このように安倍さんは自民党内の長老・極右政治家によって鍛えられ、育てられていったといえます。

3. 日本会議とは何か―改憲翼賛の右翼組織

日本会議の会員は、今、全国で約38,000人です。全都道府県に本部を設置しています。組織的にはその下に支部を作っています。本格的に支部づくりを始めるのは2006年ぐらいからです。これは「九条の

会」に対抗するためです。2004年4月の世論調査では憲法改正に賛成が反対の3倍になっていた。九条の改正も賛成の方が多かった。これに危機意識を持って加藤周一さんを始め9人が「九条の会」をつくって2004年6月にアピールを出します。これに賛同する人たちが地域に職場に分野別に「九条の会」をつくっていきます。2年後には5000を超えます。この活動によって2006年の世論調査では改憲に対する賛成・反対が拮抗してきます。日本会議はこれに危機感を抱き、我々も草の根の取組みを地域でやっ
ていかねばと地域で支部をつくっていきます。2016年10月現在約250支部ができています。東京では今19支部あります。県内を網羅して支部をつくっている県もあります。滋賀県では4つの小選挙区ごとに支部をつくっています。その他にも2007年には日本会議地方議員連盟が発足し、地方議会から「誇りある国づくりをめざす」として、現在、約1630名の地方議員が地方議連に加入しています。都道府県議会に同議連が占める割合をみると、70%を超えているのが山口県です。60%超が山形・茨城・愛媛、50%超が宮城・長崎・熊本、40%超が秋田・群馬・埼玉・千葉・東京・岐阜・静岡・京都・岡山・福岡・宮崎・鹿児島となっています。なんと40%以上日本会議地方議連議員が占めている議会が19都府県にも
のぼっているのです。国会が日本会議議連にジャックされていると言いましたが、地方議会も19でジャックされている状況です。今、日本会議の地方議連と支部が連携して、各地で教科書攻撃・「つくる会」系教科書の採択活動や、東京では支部が日の丸・君が代の強制を取り上げ、議連が区議会で採択させています。その他改憲運動や歴史わい曲運動など様々なことをやっています。

(以下 次号)

《議員連盟の略字の説明》

- 歴史＝ 自民党歴史・検討委員会
- 日本＝ 日本会議国会議員懇談会（「日本会議議連」）、衆参290人（2016.12現在）
- 教科書＝ 日本の前途と歴史教育を考える議員の会（「教科書議連」）
- 神道＝ 神道政治連盟国会議員懇談会（「神道議連」）、衆参326人（2016.5.30現在）
- 靖国＝ みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会（「靖国議連」）、衆参362人（2016.5.30現在）
- 若手靖国＝ 平和を願い真の国益を考え靖国神社参拝を支持する若手国会議員の会
- 創生＝ 創生「日本」、安倍が会長の「戦後レジーム」からの脱却、改憲をめざす超党派議員連盟（大部分は自民党）で事実上の「安倍議連」。
- 改憲＝ 憲法調査推進議員連盟（超党派の「改憲議連」）
- 同盟＝ 新憲法制定議員同盟（超党派の「改憲同盟」）
- 教基法＝ 教育基本法改正促進委員会（自民・民主による超党派議連）
- 拉致＝ 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（「拉致議連」）
- 正しい＝ 正しい日本を創る会
- 反中国＝ 中国の抗日記念館から不当な写真の撤去を求める国会議員の会
- 南京＝ 映画「南京の真実」賛同者
- W・P＝ 米「ワシントンポスト」への「慰安婦」否定の意見広告に賛同した議員
「慰安婦」＝米・ニュージャージー州「スターレジャー」に「慰安婦」否定の意見広告に賛同した議員
- 反日教組＝ 日教組問題を究明し、教育正常化実現に向け教育現場の実態を把握する議員の会
- 親学＝ 親学推進議員連盟。高橋史郎が理事長の親学推進協会と連携して2012年4月に設立
- 人格＝ 人格教養教育推進議員連盟。14年6月10日設立の超党派議連。道徳の教科化などを推進。

資料2 第3次安倍改造内閣の超タカ派（極右）の大臣たち（2017年1月27日改訂）

俵 義文 作成

大臣	氏名	所属の議員連盟など
総理	安倍 晋三	歴史、日本（特別顧問）、教科書（顧問）、神道（会長）、靖国、改憲、同盟（顧問）、創生（会長）、拉致（顧問）、「慰安婦」、親学（会長）、人格（最高顧問）
副総理・財務・金融	麻生 太郎	日本（特別顧問）、神道、靖国、教基法（顧問）、改憲、同盟、創生（副会長）、拉致（顧問）
総務	高市 早苗	日本（副会長）、教科書（幹事長代理）、神道、靖国、若手靖国、教基法、改憲、創生（副会長）、反日教組、拉致、「慰安婦」、人格（顧問）
法務	金田 勝年	日本、神道、靖国、改憲
外務	岸田 文雄	歴史、日本、教科書、神道
文部科学・教育再生	松野 博一	歴史、日本、教科書、神道
厚生労働	塩崎 恭久	日本、教科書、神道、靖国、改憲、創生（副会長）
農林水産	山本 有二	日本、神道、靖国、創生（委員）、「慰安婦」
経済産業	世耕 弘成	日本、神道、靖国、改憲、同盟、創生（副会長）、反日教組、「慰安婦」
国土交通・水循環	石井 啓一	（公明党）
環境・原子力防災	山本 公一	日本、神道、靖国
防衛	福田 朋美	日本（政策審議副会長）、教科書、神道、靖国、同盟、創生（事務局長代理）正しい（事務局長）、南京（映画「南京の真実」賛同者）、反中国（事務局長）、W・P、「慰安婦」、拉致（幹事）
復興・福島原発再生	今村 雅弘	日本、教科書、神道、靖国、改憲、創生（委員）、正しい
国家公安・防災	松本 純	神道、靖国、改憲、同盟、創生（委員）、反日教組
沖縄・北方	鶴保 庸介	神道、靖国、改憲、同盟、反日教組
経済再生	石原 伸晃	神道、靖国、改憲、同盟（副会長）、創生（委員）
1億総活躍・働き方改革・拉致	加藤 勝信	日本（副幹事長）、神道、靖国、若手靖国、同盟、創生（元事務局長）、文化
地方創生・行政改革	山本 幸三	日本、神道、靖国
オリンピック	丸川 珠代	日本（事務局次長）、神道、靖国、創生（事務局次長）
官房長官・沖縄基地	菅 義偉	日本（副会長）、教科書、神道、靖国、改憲、拉致、創生（副会長）
首相補佐官	氏名	所属の議員連盟など
教育再生・少子化	衛藤 晟一	歴史、日本（幹事長）、教科書（会長代行）、神道、靖国、教基法（副委員長）、改憲、同盟、創生（幹事長）、反日教組、拉致（副会長）、「慰安婦」、正しい
ふるさとづくり推進・文化外交	河井 克行	神道、靖国
国家安全保障・選挙制度	柴山 昌彦	日本（政策副会長）、神道、靖国、創生（委員）、反日教組
内閣官房	氏名	所属の議員連盟など
官房副長官	萩生田光一	日本（政策副会長）、教科書（沖縄問題小委員長）、神道、靖国、若手靖国、同盟、創生（前事務局長）、反中国（幹事長）、正しい（幹事長）、人格（副幹事長）、文化
官房副長官	野上浩太郎	日本、神道、改憲、同盟（事務局次長）、創生（委員）